授業科目	＊母子の心理・社会学					実務家教員担当科目	○
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	前田　幸、山田　恵、新郷　朋香						
授業概要	女性のライフサイクル各期、また妊娠前後、出産・育児期にある女性のメンタルヘルスについてふれ、女性や家族が抱える問題や課題に関して、心理・社会学的側面から検討する。その際、周産期における母親・父親の心理的特性や親役割の発達課題について言及する。また、現代社会における女性や子ども・家族を取り巻く特徴や課題、支援方法についても解説する。						
授業形態	講義				授業方法		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．ライフサイクル各期における心理的特性・発達課題について説明できる。 2．母子関係・父子関係を築くための親役割について説明できる。 3．現代社会における母子と家族の特徴、課題について説明できる。 4．現代社会における母子と家族の支援について説明できる。
理想的レベル	標準的レベル１～４のすべてを達成したうえで、周産期・子育て期における心理的特性や社会的特徴、メンタルヘルスの重要性と課題について根拠を踏まえて自分の言葉で表現できる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	70%	レポートは授業の中で提示します。
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	30%	授業の感想などで評価します。
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	MI11103J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
予習：テキストや配布した資料を確認しておく。 復習：該当部分を復習する。	4

授業計画

第１回	ライフサイクル各期における心理的特性・発達課題について解説する。（内部講師　杉本有紗）
第２回	周産期の心理①　（外部講師） マタニティサイクルの心理的特性 母親・父親の心理について解説する。
第３回	周産期の心理②　（外部講師） 母性・父性の意識と親役割の獲得

	現代社会の問題点をふまえて母親・父親となる過程について解説する。
第４回	周産期の心理③（外部講師） 母子関係、父子関係の形成 現代社会の問題点をふまえて母子・父子関係の形成過程について解説する。
第５回	周産期の心理④（外部講師） マタニティサイクルの母親・父親および乳幼児のメンタルヘルスの重要性と課題について解説する。
第６回	母子と家族の心理・社会①（山田恵） 家族の機能と役割・家族の変化・多様化するライフコースと家族・家族とケアのゆくえ・家族と法について解説する。
第７回	母子と家族の心理・社会②（新郷朋香） 母親と社会・父親と社会・現代社会における多様な「親」のあり方について解説する。
第８回	母子と家族の心理・社会③（前田幸） 社会のなかの子ども・現代日本の子どもについて解説する。
テキスト	助産学講座４　基礎助産学〔４〕 母子の心理・社会学　第６版　医学書院
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて、講義中に資料を配布します。
課題に対するフィードバックの方法	質問やレポートに関するフィードバックは講義やクラスルームなどを通じて行います。
学生へのメッセージ・コメント	マタニティサイクルや育児に大きく影響する領域なので他の授業科目と関連づけて学習して下さい。 図書館などで、参考になる書籍を探してみてください。新聞やメディアなどで心理学に関する事項も紹介されていますので参考にするのもよいでしょう。